

ここに舞い、紡ぐ

羽床下組

平野組

北村組

讃岐国司の任にあった菅原道真公が、
大干ばつの折に雨乞いをするに恵の雨が降り、
人々が喜び踊ったのがはじまりといわれています。

ユネスコ無形文化遺産・重要無形民俗文化財

滝宮の念仏踊

2026年8月23日(日) 滝宮神社 滝宮天満宮

・ 午前8時頃～ 午前10時45分頃～

※準備ができ次第開始します

滝宮念仏踊保存会

香川県綾川町





入 庭

IRIHA

滝宮神社 午前8時頃～

滝宮天満宮 午前10時45分頃～ ※準備ができ次第開始します。

境外に一同揃い、

菩薩を象徴する子踊りを中心に行列して境内に入場します。

先導は西分八幡神社の奴組がつとめます。



踊り

ODORI

滝宮神社 午前8時30分頃～

滝宮天満宮 午前10時45分頃～ ※準備ができ次第開始します。

神前に輪をつくり、神職の修祓の儀、薙刀の悪魔払いの後、陣羽織を着た下知が願成就の発声に合わせ、太鼓・笛・鉦・ほら貝のはやしに合わせ、太陽と月を描いたうちわをひらめかせ、周りに並ぶ警固の「ナムアミドーヤ」と節をつけて唱える歌詞にあわせて踊ります。

下知とともに、花笠をかぶった6歳～12歳の太鼓打ちは太鼓を打ち、花笠をかぶった2人の中鉦は鉦を鳴らしながら踊ります。



祈りの継承・担い手たち



滝宮の念仏踊は、雨や五穀豊穡を願う地域の祈りとともに受け継がれてきました。地域の安寧と豊かな実りを願う祈りは、時代が移り変わっても大切に守られ、今日まで伝えられています。

この伝統を支えているのは、踊りを受け継ぎ、次の世代へ渡そうとする地域の人々です。

今年は北村組、小野組、羽床下組の3組が受け継がれてきた祈りを舞い、紡ぎます。

駐車場について

駐車台数には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。ことでん滝宮駅から徒歩で約5分。駐車場情報については、綾川町ホームページ等でご確認ください。

8月関連イベント 「滝宮の念仏踊」展示

開催期間 8月1日(土)～8月30日(日)
開催場所 綾川町立生涯学習センター

お問い合わせ先 | 滝宮念仏踊保存会事務局（綾川町教育委員会内） TEL 087-876-1180